

2013年10月1日

名古屋市教育委員会
教育長 下田 一幸 様

第80回栄総行動実行委員会
実行委員長 前田 定孝

名古屋市教職員労働組合
執行委員長 佐藤 斉子

要 請 書

子どもたちの健やか成長と学校教育の充実は市民の切実な願いです。名古屋市では、2008年4月に「なごや子ども条例」が施行されました。しかしながら、子どもの人権が損なわれ、時には命までも脅かす「いじめ」問題には心を痛める日々です。7月10日には、南区の中学校で転落死をするという痛ましい出来事もありました。背景には、低年齢からの競争、過密授業、子どもも教師もゆとりがない学校生活など様々な原因が考えられます。今こそ、憲法と「子どもの権利条約」の精神に立ち返り、子育てや学校教育にとって本当に必要なこと、大事なことを再確認しつつ、その実現のための諸条件の整備や財政上の措置を行政は着実にやっていくことが求められています。

つきましては、下記の事項を強く要請します。

記

1 教育予算を増やし、教育条件を整えてください

名古屋市の予算がひっ迫しているとして、毎年教育予算が削られています。そのため需用費が減額され、保護者負担が増えていきます。新しい教材を整えたり、子どもたちが目を輝かせる授業をしたりするためには、学校予算を増やすことが必要です。また、学校の施設が古いままで、校舎の壁は著しく痛み、普通教室に扇風機が2台しか取り付けてもらえないなど、とても快適に学習できる状態ではありません。来年度中にエアコンを小学校の全教室に設置し、子どもたちが楽しく学校に通えるよう教育条件を整えてください。

2 子どもと正面から向き合うための教員増を図ってください

名古屋市は、英語や読書に重点をおいた「なごやっ子」政策を打ち出しています。しかし、それに見合った教職員が配置されていないために、楽しい授業作りができなかったり、理解が十分でない子への目が届かなかったりします。

文部科学省は、父母・国民が切実に求めている「30人学級実現」については、2013年度学力テストの結果（速報）を活用した効果検証によって『少人数学級の推進』と『チーム・ティーチングや習熟度別指導の推進』を市町村の裁量で選択実施にしています。

名古屋市では、全国でいち早く少人数学級を取り組み始め、きめ細かい指導やいじめの早期発見など成果も上げてきました。国の施策に基づき名古屋市独自で、少人数学級を拡大してください。

3 学校図書館を充実してください

豊かな人間性の育成をめざし、学校図書館が利用しやすく、子どもたちが読書好きになる学校図書館運営を求めます。そのために、2011年度から始まっている第4次学校図書館整備5カ年計画に沿って、全国的に学校図書館整備が進んでいることに鑑みて、名古屋市の立ち後れを是正してください。

学校図書館に学校司書を配置することをすすめて下さい。中・高等学校で、生徒用に日刊紙新聞を購入して閲覧できるようにしてください。市立高校の図書館に勤務する「事務補助員」の待遇を改善してください。

4 児童生徒・教職員の健康を守り、保護者が安心できる部活動をしてください

現在の部活動は一部の外部指導者を除き、多くは該当学校の教員が行っています。そのため、法令に定めた勤務時間をはるかに超える労働実態があり、教員の心身の健康を損ねています。本来教員は、授業で子どもたちに情熱や熱意を発揮しますが、加重労働を行うため、ゆとりが損なわれています。また、部活動の種目や内容を知らないままに部活動を担当するなど、児童生徒への指導力が不十分になっている現状があります。不安定なままに、子どもに強圧的に接する場合も出てきます。早朝や、土日連続で休みなく行われることで家族との交流が少なくなることや、疲れて帰り家庭の団らんが損なわれることもあります。

名古屋市教育委員会が、豊かな心と健全な心身をはぐくむ部活動の実現を目指すように改善してください。

5 安全・安心な学校給食の継続を図ってください

今年度から、給食調理員がすべて非正規になった学校があります。非正規の調理員では、職員打ち合わせや職員会議に出席しないなど、連絡がおろそかになります。また、他都市では、誤ってアレルギー物質を含む食品を食べ死亡する事故が発生しています。事故が発生してからでは遅すぎます。

アレルギーの児童が安心して給食を食べられるよう、いつでも担任と連絡が取れ、朝の打ち合わせに毎日出席できる正規職員による給食調理員の配置をしてください。

6 お金の心配なしに安心して進学できる対策を行ってください

名古屋市は、全ての生徒の高校進学を支援するための施策を強化し、希望者に高校進学を保障するための施策を講じてください。困窮家庭の生徒がお金の心配しなくてもよい、給付型入学準備金・奨学金の創設を行ってください。

現在行っている高等学校入学準備金貸付金の対象生徒数を大幅に増やしてください。申し込みの期限を12月中旬以降としてください。返還の開始を、大学卒業からでも可としてください。